

水道管の凍結に 注意しましょう！

寒さも一段と厳しくなり、水道管の凍結が心配な季節になりました。水道管が凍結した場合の解凍や修理は、各家庭で対応していただく必要があります。休日や祝祭日に水道管が凍結してしまった場合は、「町指定給水装置工事店」が当番で対応しますので、当番店に直接ご連絡ください。なお、当番店以外でも、対応が可能な場合がありますので、各工事店にお問い合わせをお願いします。

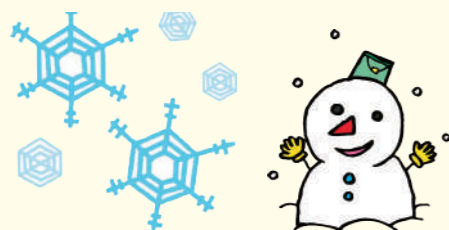
【ご注意ください】

水抜き栓が半開きだと、水が地中に流れ出てしまいます。水抜き栓は、開けるときは全開、閉めるときは全閉にしてください。

☎建設水道課 ☎65-8987

水道凍結修理休日当番店

月日	会社名	電話番号
12月3日(出)	馬淵川設備(株)葛巻出張所	66-2428
4日(日)	(有)山伸水道工業所	66-2813
10日(出)	(有)八紘カイハツ	0195-27-4545
11日(日)	ハタナカ水道	080-1813-0628
17日(出)	蒲野建設(株)	0194-72-2211
18日(日)	馬淵川設備(株)葛巻出張所	66-2428
24日(出)	(有)山伸水道工業所	66-2813
25日(日)	(有)八紘カイハツ	0195-27-4545
29日(休)・年末	ハタナカ水道	080-1813-0628
30日(金)・年末	馬淵川設備(株)葛巻出張所	66-2428
31日(土)・年末	(有)八紘カイハツ	0195-27-4545
1月1日(日)・年始	ハタナカ水道	080-1813-0628
2日(月)・年始	蒲野建設(株)	0194-72-2211
3日(火)・年始	(有)山伸水道工業所	66-2813



いわておかえり年末年始キャンペーン

県では、お正月に帰省する人を対象に「Uターン移住」を具体的に考えていただくため、岩手で働く魅力をPRする「いわておかえり年末年始キャンペーン」を実施します。

期間中、岩手の仕事・就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」に新規登録いただいた県外在住の人に、抽選で「いわて牛五つ星」3万円相当などの県産品をプレゼントします。県外のご家族などにぜひお知らせください。

期間：令和4年12月23日(金)～令和5年1月22日(日)

☎県定住推進・雇用労働室 ☎019-629-5588

☎いらっしゃい葛巻推進課 ☎65-8983



△キャンペーン
サイト

盛岡駅で行われたお盆のキャンペーンの様子

除雪にご協力をお願いします

町では、冬期間の安全な交通を確保するため、降雪量に応じて除雪作業を行いますので、次のことにご理解とご協力をお願いします。

- ①深夜から早朝にかけて作業を行う場合があります。作業音や振動が発生することがありますが、ご理解をお願いします。
- ②除雪車が通過後、沿線のご家庭の敷地内に雪が残る場合があります。その場合は各家庭で除雪のご協力をお願いします。

☎建設水道課 ☎65-8988



安全確保のため早朝や夜間にも作業を行います



大橋完成記念式典 安全を願い渡り初め

くずまき「大橋」完成記念式典(同実行委員会主催、神谷義次会長)は11月19日、地域住民や来賓、関係者など約100人が参加して開催されました。

浦子内地区に新たに完成した大橋は橋長51m、道路幅員9m(両側に2mの歩道)でくずまきカラマツ集成材を活用した上屋が付いているのが特徴です。



大橋の完成を記念したテープカット

式典で鈴木重男町長は「林業の町のシンボルとなる大橋に、生活の利便性の向上と交流人口や関係人口の拡大効果を期待します」とあいさつ。引き続き関係者がテープカットを行いました。

橋の渡り初めでは、世代を超えて受け継がれる長寿の橋となるように願いを込めて「三世代渡り初め」が行われ、浦子内町内会の加納勝雄さん、藤森雅美さん、前野勝芳さんの三世代家族が参加。加納さんが大橋の完成を祝う音頭上げを行い、浦子内組の歩み太鼓の音色に合わせ、提灯を手にした加納輝季くん(葛巻中2年)と藤森大和くん(同)を先頭に、3家族と参列者が橋を渡りました。

加納さんは「橋の安全を願い音頭を上げました。家族で渡り初めができて良かった」と話し、神谷会長は「町内会でもイベントを企画して、大橋で思い出作りができれば良い」と話していました。

第12回葛巻町和牛共進会

優良な和牛育成の学び深める

第12回町和牛共進会(同実行委員会主催)は11月3日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで開催され、昨年を8頭上回る38頭が出品されました。

今年度はホルスタイン共進会とは別日程で単独の開催。審査は未經産牛、経産牛併せて5部門で行われ、会場には磨き上げられた牛たちが堂々と並び、菊池和馬審査員(全国農業協同組合連合会岩手県本部)が



菊池審査員が牛の特徴を解説した勉強会

審査を行いました。

審査の結果、未經産牛の部では外山秋翔さん(上外川)が、経産牛の部では上山秀司さん(吉ヶ沢)が名誉賞に輝きました。二人は共に初の名誉賞受賞で、町の生産者の層の厚さと飼養管理技術の向上が感じられました。

また、今回の共進会では、生産者の学びを深めようと初めて勉強会が開催されました。勉強会では種雄牛の異なる牛を3組(3頭1組)で比べ、菊池審査員が牛の持つ特徴や資質の違いなどを解説。生産者の皆さんはより優良な和牛育成の参考にしようという牛を見比べながら真剣に聞き入っており、和牛の産地づくりを目指す新たな共進会のあり方を示す大会となりました。

各部金賞受賞者(★は名誉賞)

- 【未經産牛】
- ▼第1部 馬淵 司(田野)
- ▼第2部 ★外山秋翔(上外川)
- ▼第3部 芳田 聡(吉ヶ沢)
- 【経産牛】
- ▼第4部 東館直樹(吉ヶ沢)
- ▼第5部 ★上山秀司(吉ヶ沢)